

## 排水機場の新設により、湛水被害を防止する

## 【対策】1-5 流域治水対策(農業水利施設の整備)

対策概要: 洪水調節機能強化のための既存農業水利施設の補修・更新、市街地・集落を含む農村地域の排水対策のための農業水利施設の整備を推進する。

府省庁名: 農林水産省

## 【事例】西ノ島排水機場建設事業(浮島地区)

- 実施主体: 福岡県
- 実施場所: 福岡県久留米市
- 事業概要: 浮島地区は筑後川とその支流に囲まれた低平地であり、地形的な特質から令和2年7月豪雨(48.0mm/h)などの大雨時に排水が効かず湛水している状況であった。大雨による湛水被害を解消するため、排水機場を新設し、排水機能を強化した。  
(計画排水能力3.4m<sup>3</sup>/s)
- 事業費: 9.5億円  
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)2.8億円)
- 効果: 令和5年4月に排水機場を新設し、排水機能を強化し、湛水被害の解消を図った。その結果、令和5年7月豪雨(51.0mm/h)では湛水被害が発生せず、農地及び宅地への湛水被害を未然に防止するとともに、地域の安全・安心の確保に寄与した。

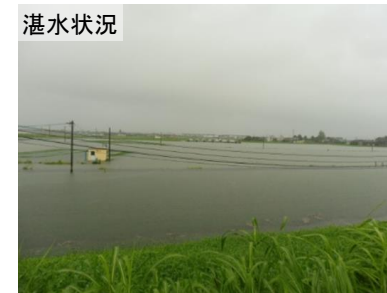
## &lt;新設した西ノ島排水機場&gt;



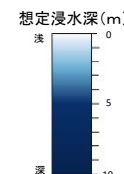
## &lt;対策前後の状況&gt;

対策前(令和2年7月豪雨)

湛水状況



浸水推定図(最大48.0mm/h)



対策後(令和5年7月豪雨)

豪雨時排水状況



浸水推定図(最大51.0mm/h)

